

下水道地震・津波対策技術検討委員会第2次提言
段階的応急復旧のあり方（概要）

本復旧までに要する期間に応じて以下の考え方で応急復旧を行い、段階的な放流水質の向上を目指す。

【本復旧まで3～6ヶ月と見込まれる場合】

㊦ 沈殿＋消毒→本復旧

【本復旧までおおむね1年以内と見込まれる場合】

㊧ 沈殿＋消毒→沈殿＋簡単な生物処理＋消毒→本復旧

・ 3～6ヶ月程度で簡単な生物処理＋消毒（BOD120～60レベル）へ移行

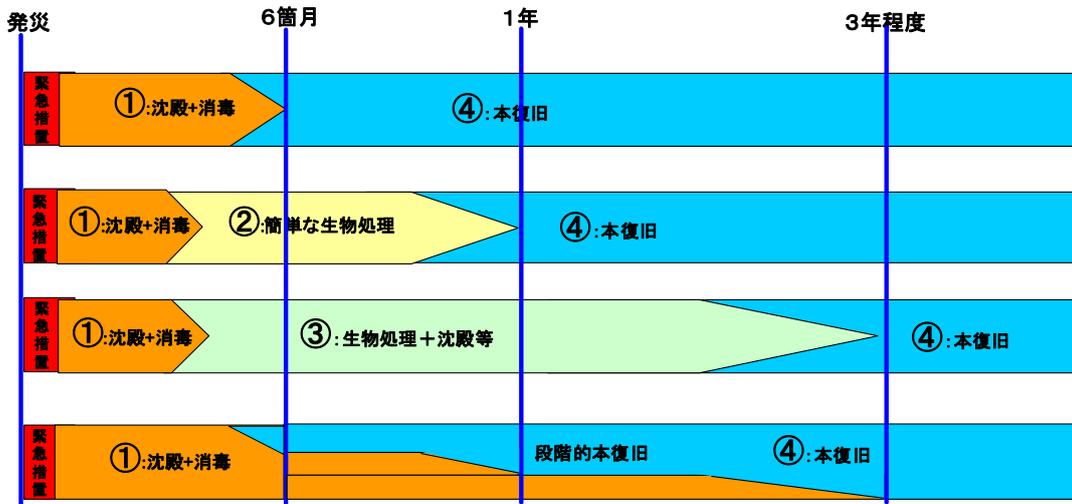
【本復旧まで1～3年程度と見込まれる場合】

㊨ 沈殿＋消毒→生物処理＋沈殿＋消毒→本復旧

・ 3～6ヶ月程度で生物処理＋消毒（BOD60～15レベル）へ移行

㊩ 沈殿＋消毒→段階的本復旧→本復旧

・ 中大規模の処理場で複数の系列を有する場合、系列ごとに段階的に本復旧



段階的応急復旧の概念図

各段階の目標水質

手法		目標水質	
		BOD(mg/l)	大腸菌群数(個/cm ³)
応急復旧	① 沈殿＋消毒	120	3000
	② 沈殿＋簡単な生物処理＋消毒	120→60	
	③ 生物処理＋沈殿＋消毒	60→15	
	④ 本復旧	15以下	